

# Dell Storage Integration Tools for VMware

バージョン 5.1

管理者ガイド



# 本書について

本ガイドは、Dell Storage Integration Tools for VMware ( DSITV ) のインストールと、Replay Manager Service for VMware ( RMSV ) および Dell Storage vSphere Web Client Plugin の設定の手順について説明しています

## リビジョン履歴

文書番号 : 680-131-003

| リビジョン | 日付         | 説明   |
|-------|------------|------|
| A     | 2019 年 8 月 | 初版発行 |

## 対象読者

本ガイドは、Dell Storage Center、Dell Storage Manager、および Replay Manager について中級～上級レベルの知識を有する IT 技術者を対象としています。また、VMware vSphere Client、VMware vCenter、および VMware ESXi の管理作業に精通していることを前提としています。

## 関連する出版物

Dell ストレージ製品で使用するクライアントアプリケーションについては、次のマニュアルを利用できます。

- 『Dell Storage SC Series Best Practices with VMware vSphere 5.x–6.x』( VMware vSphere 5.x–6.x での Dell Storage SC Series ベストプラクティス )  
VMware vSphere を Storage Center と統合する際にユーザーが参照できる設定例、ヒント、推奨される設定、その他のストレージガイドラインを提供しています。本書は、いかに VMware が Dynamic Capacity、Data Progression、Data Reduction などの Storage Center 機能とやりとりを行うかについての、多くのよくある質問に答えています。
- 『Dell Storage vSphere Web Client Plugin Administrator's Guide』( Dell Storage vSphere Web Client Plugin 管理者ガイド )  
VMware vSphere Web Client による Storage Center の管理において、どのように vSphere Web Client Plugin を使用するかを説明しています。
- 『Dell Storage Manager Administrator's Guide』( Dell Storage Manager 管理者ガイド )  
Dell Storage Manager の設定および管理手順を提供しています。Dell Storage Manager では、レプリケーションや障害復旧 ( DR ) サイトのセットアップや監視を含む、エンタープライズレベルでの複数 Storage Center を管理できます。また、システムが提供する各種パフォーマンスレポートおよびカスタムレポートの作成機能も提供しています。
- 『Replay Manager Administrator's Guide』( Replay Manager 管理者ガイド )  
Replay Manager のインストール方法およびサーバー上のデータのバックアップおよび復元のためのソフトウェア使用方法を説明しています。

## Dell へのお問い合わせ

Dell では、オンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。サポートとサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。

セールス、テクニカルサポート、またはカスタマサービスに関する問題について Dell にお問い合わせ頂く場合は、[Dell.com/support](https://Dell.com/support) にアクセスしてください。

- カスタマイズされたサポートを受けるには、サポートページでお使いのシステムのサービスタグを入力し、送信 をクリックしてください。
- 一般的なサポートについては、サポートページで製品リストを参照し、お使いの製品を選択してください。

## メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2019 Dell Inc. その関連会社。All rights reserved. Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

|                                                      |           |
|------------------------------------------------------|-----------|
| <b>前書き：本書について.....</b>                               | <b>2</b>  |
| リビジョン履歴.....                                         | 2         |
| 対象読者.....                                            | 2         |
| 関連する出版物.....                                         | 2         |
| Dell へのお問い合わせ.....                                   | 2         |
| <b>1 DSITV のインストール.....</b>                          | <b>5</b>  |
| DSITV の概要.....                                       | 5         |
| ソフトウェア要件.....                                        | 5         |
| DSITV の展開.....                                       | 5         |
| DSITV のセットアップ.....                                   | 6         |
| DSITV 仮想アプライアンスの時刻設定.....                            | 6         |
| DSITV へのログイン.....                                    | 6         |
| DSITV の設定.....                                       | 7         |
| DSITV のアップデート.....                                   | 8         |
| DSITV の現在バージョンの表示.....                               | 8         |
| DSITV のアップデートの確認.....                                | 8         |
| DSITV へのアップデートのインストール.....                           | 9         |
| ダークサイトにおける DSITV のアップデート.....                        | 9         |
| DSITV の再起動.....                                      | 10        |
| <b>2 Replay Manager Service for VMware.....</b>      | <b>11</b> |
| RMSV のデータ移行.....                                     | 11        |
| RMSV の設定.....                                        | 11        |
| <b>3 Dell Storage vSphere Web Client Plugin.....</b> | <b>13</b> |
| Dell Storage vSphere Web Client Plugin のインストール.....  | 13        |
| vSphere Web Client Plugin の削除.....                   | 13        |
| <b>付録 A: DSITV アプリケーションのトラブルシューティング.....</b>         | <b>14</b> |
| RMSV のトラブルシューティング.....                               | 14        |
| RMSV の再スタート.....                                     | 14        |
| RMSV ログファイルの保存.....                                  | 14        |
| vSphere Web Client Plugin のトラブルシューティング.....          | 15        |
| プラグインの概要およびモニターページが無効になっている.....                     | 15        |
| 自動フェールオーバーを適用すると Live Volume を有効にできない.....           | 15        |
| vSphere Web Client ログファイルの表示.....                    | 15        |
| TLS に関連する登録の失敗.....                                  | 15        |

# DSITV のインストール

## DSITV の概要

DSITV は、Replay Manager Service for VMware ( RMSV ) および Dell Storage vSphere Web Client Plugin を VMware vSphere に統合します。

- ・ Replay Manager Service for VMware ( RMSV ) は、VMware 仮想マシンおよびデータストアの一貫したスナップショットを保証します。RMSV の設定については、「[RMSV の設定](#)」を参照してください。
- ・ Dell Storage vSphere Web Client Plugin は、VMware vCenter のプラグインです。ストレージ管理者が、VMware vSphere Client でデルストレージを管理する場合に使用します。Dell Storage vSphere Web Client Plugin を VMware vCenter Server にインストールするには、「[vSphere Web Client のインストール](#)」を参照してください。
- ・ VMware ソフトウェアのインストールおよび設定の詳細については、[www.vmware.com/support](http://www.vmware.com/support) を参照してください。

## ソフトウェア要件

以下のリストは、DSITV コンポーネントの最小ソフトウェア要件を示しています。

- ・ Replay Manager Service for VMware ( RMSV )
  - ・ Storage Center OS バージョン 7.1
  - ・ Replay Manager エクスプローラー バージョン 7.8
  - ・ VMware ESX/ESXi バージョン 6.5 ~ 6.7
  - ・ VMware vCenter Server バージョン 6.5 ~ 6.7
- ・ Dell Storage vSphere Web Client Plugin
  - ・ Dell Storage Manager ( Enterprise Manager ) : 2018 R1
  - ・ Storage Center OS バージョン 7.1
  - ・ VMware ESXi バージョン 6.5 ~ 6.7
  - ・ VMware vCenter Web Server バージョン 6.5 ~ 6.7

**メモ:** FluidFS は、DSITV バージョン 5.1 以降ではサポートされません。

**メモ:** Dell Storage Manager Data Collector は、Dell Storage vSphere Web Client Plugin バージョン 5.1 にも必要です。Data Collector のインストールについての情報は、『[Dell Storage Manager インストール ガイド](#)』を参照してください。

## DSITV の展開

DSITV 仮想アプライアンスは、OVA ( オープン仮想アプライアンス ) ファイルとして提供されます。OVA ファイルの名前は DSITV-05.01.00.XXX.ova で、[ [OVF テンプレートの展開](#) ] ウィザードを使用して VMware vCenter Server に展開されます。

1. vSphere Client を起動して、VMware vCenter Server に接続します。
2. vSphere Client で、[ **VM およびテンプレート** ] を選択します。
3. [ **アクション** ] > [ **OVF テンプレートの展開** ] を選択します。  
OVF テンプレートの導入ウィザードが開きます。
4. [ **ファイルまたは URL から展開** ] フィールドで .ova ファイルの場所を指定します。
5. **次へ** をクリックします。  
[ **OVF テンプレートの詳細** ] ページが開きます。
6. **次へ** をクリックします。  
[ **エンドユーザーライセンス契約** ] ページが開きます。
7. ライセンス契約を読み、[ **承諾** ] をクリックします。
8. **次へ** をクリックします。  
[ **名前と場所** ] ページが開きます。
9. 仮想アプライアンスの名前と場所を指定します。

- ・ ( オプション ) [ 名前 ] フィールドで仮想アプライアンスの名前を変更します。仮想アプライアンスのデフォルト名は、*Dell Storage Integration Tools for VMware* です。
  - ・ ( オプション ) [ インベントリーの場所 ] ペインで、仮想アプライアンスを導入するフォルダーを選択します。
10. **次へ** をクリックします。  
[ ホスト/クラスター ] ページが開きます。
  11. 仮想アプライアンスを導入するホストまたはクラスターを選択します。  
クラスターが選択されている場合は [ 次へ ] をクリックし、仮想アプライアンスを導入するクラスター内のホストを選択します。
  12. **次へ** をクリックします。  
[ ストレージ ] ページが開きます。
  13. DSITV 仮想マシン ファイルの宛先ストレージを選択します。
  14. **次へ** をクリックします。  
[ ディスク フォーマット ] ページが開きます。
  15. 仮想ディスクのフォーマットを選択します。
  16. **次へ** をクリックします。
    - ・ ネットワーク マッピングが必要な場合は、[ ネットワークマッピング ] ページでソース ネットワークを宛先ネットワークにマッピングし、[ 次へ ] をクリックします。[ 終了準備完了 ] ページが開き、仮想アプライアンスの展開設定が表示されます。
    - ・ ネットワーク マッピングが不要な場合は、[ 終了準備完了 ] ページが開き、仮想アプライアンスの展開設定が表示されます。
  17. **終了** をクリックします。  
展開の進行状況を示すダイアログボックスが開きます。
  18. Completed Successfully メッセージが表示されたら、[ 閉じる ] をクリックします。

DSITV が展開されている Storage Center ボリュームに毎日のリプレイ プロファイルを割り当て、DSITV 仮想アプライアンスを復元できるようにします。

## DSITV のセットアップ

DSITV を展開した後、DSITV 仮想アプライアンスで時刻を設定してから仮想アプライアンスにログインし、タイムゾーンとネットワークを設定します。

## DSITV 仮想アプライアンスの時刻設定

ESXi ホストの時刻が正しいことを確認し、ESXi ホストと時刻を同期するように DSITV 仮想アプライアンスを設定します。

1. vSphere Client を起動して、VMware vCenter Server に接続します。
2. [ 表示 ] > [ インベントリー ] > [ ホストとクラスター ] の順に選択します。  
[ ホストとクラスター ] ビューが開きます。
3. ESXi ホストを選択し、[ 設定 ] タブをクリックします。
4. [ 時刻設定 ] をクリックします。  
[ 時刻設定 ] ページが開きます。
5. [ プロパティ ] をクリックします。  
[ 時刻設定 ] ダイアログボックスが表示されます。
6. 時刻または日付が正しくない場合は、正しい時刻または日付を適切なフィールドに入力します。
7. **OK** をクリックします。
8. [ 表示 ] > [ インベントリー ] > [ VM およびテンプレート ] の順に選択します。  
[ 仮想マシンとテンプレート ] ビューが開きます。
9. DSITV 仮想アプライアンスを右クリックして、[ 設定の編集 ] を選択します。  
仮想マシンのプロパティ ダイアログボックスが開きます。
10. [ オプション ] タブをクリックし、[ VMware ツール ] オプションを選択します。
11. [ ゲスト時刻をホストと同期する ] チェックボックスがオンになっていることを確認します。
12. **OK** をクリックします。

## DSITV へのログイン

vSphere Client を使用して DSITV にログインします。

1. vSphere Client を起動して、VMware vCenter Server に接続します。
2. [ 表示 ] > [ インベントリ ] > [ 表示 ] > [ VM およびテンプレート ] の順に選択します。  
[ 仮想マシンとテンプレート ] ビューが開きます。
3. DSITV 仮想アプライアンスを右クリックして、[ コンソールを開く ] を選択します。
4. 仮想アプライアンスが実行されていない場合は、[ VM ] > [ 電源 ] > [ 電源オン ] の順に選択します。
5. ログイン プロンプトが表示されたら、DSITV のログイン認証情報を入力します。  
ログインすると、CLI メニューが表示されます。

```
#####
#   Welcome to Dell Storage Integration Tools for VMware           #
#                               Version - 05.01.00.XXX             #
#####
```

| Item                                                 | Status |
|------------------------------------------------------|--------|
| 1. Set the time zone (Current: UTC) .....            | Unset  |
| 2. Configure network (eth0) .....                    | Unset  |
| 3. Configure RMSV .....                              | Unset  |
| 4. Register vSphere Web Client Plugin with vCenter   |        |
| 5. Unregister vSphere Web Client Plugin with vCenter |        |

```
11. Restart Replay Manager for VMware (RMSV)
12. Reboot appliance
13. Change root password
14. Customer support
15. Update appliance
16. Logout
```

Enter selection [1 - 16]:

- a) ログイン プロンプトで「**root**」と入力し、Enter を押します。
- b) パスワード プロンプトで「**Fluid**」( 大文字と小文字を区別 ) と入力し、Enter を押します。  
ログインすると、DSITV コマンドライン インタフェース ( CLI ) プロンプトが表示されます。

## DSITV の設定

初めて DSITV にログインした後、タイムゾーンおよびネットワーク設定を設定します。また、デルではこの時点で DSITV のルートパスワードを変更することをお勧めします。

### DSITV のタイム ゾーン設定

1. DSITV にログインします。
2. CLI プロンプトで、「**1**」と入力して Enter を押します。
3. 地理的な位置を使用してタイム ゾーンを指定します。
4. 正しいタイム ゾーンが表示されたら、「**1**」と入力し、Enter を押して変更を保存します。
5. タイム ゾーンを設定したら、Enter を押してメイン メニューに戻ります。

### DSITV のネットワーク設定

1. DSITV にログインします。
2. CLI プロンプトで、「**2**」と入力して Enter を押します。
3. DSITV のホスト名を入力し、Enter を押します。
4. 管理ネットワークの DSITV の IP アドレスを入力し、Enter を押します。
5. 管理ネットワークのネットワーク マスクを入力し、Enter を押します。
6. 管理ネットワークのゲートウェイ IP アドレスを入力し、Enter を押します。
7. 管理ネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを入力し、Enter を押します。
8. 2 台目の DNS サーバーを指定するには、管理ネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを入力し、Enter を押します。それ以外は Enter を押してこの手順をスキップします。

9. 前の手順で入力した値が画面に表示されたら、「y」と入力し、Enter を押して変更を保存します。
10. ネットワーク設定を完了したら、Enter を押してメインメニューに戻ります。

## ( オプション ) DSITV の root パスワード変更

1. DSITV にログインします。
2. CLI プロンプトで、「13」と入力して Enter を押します。
3. 新しい root パスワードを入力し、Enter を押します。
4. 新しい root パスワードをもう一度入力し、Enter を押します。
5. root パスワードを変更したら、Enter を押してメインメニューに戻ります。

## DSITV のアップデート

DSITV 仮想アプライアンスのアップデートされたバージョンが使用可能になると、仮想アプライアンスからインストールできます。DSITV がダークサイトにインストールされている場合は、次の項を参照してください：[ダークサイトにおける DSITV のアップデート](#)

## DSITV の現在バージョンの表示

1. DSITV にログインします。
2. CLI プロンプトで「15」と入力し、Enter を押します。次のオプションが表示されます。

```
-----
1. Appliance version
2. Check for updates
3. Install update
4. Return to main menu
```

```
Enter selection [1 - 4]:
```

3. 「1」と入力し、Enter を押します。仮想アプライアンスの現在のバージョンが表示されます。

```
Version - 05.01.00.XXX
```

```
Description - Updates to the Dell Storage Integration
Tools for VMware appliance
```

```
press [enter] to continue...
```

4. Enter を押して、仮想アプライアンスのアップデートメニューに戻ります。

## DSITV のアップデートの確認

1. DSITV にログインします。
2. CLI プロンプトで「15」と入力し、Enter を押します。次のオプションが表示されます。

```
-----
1. Appliance version
2. Check for updates
3. Install update
4. Return to main menu
```

```
Enter selection [1 - 4]:
```

3. 「2」と入力し、Enter を押します。
  - ・ アップデートが見つからない場合は、次のメッセージが表示されます。  
No available updates found

- ・ アップデートが見つかった場合は、アップデートのバージョン番号が表示されます。
4. Enter を押して、仮想アプライアンスのアップデート メニューに戻ります。

## DSITV へのアップデートのインストール

 **注意:** DSITV をアップデートする前に、スケジュールされたバックアップまたは復元操作が進行中でないことを確認してください。

1. DSITV にログインします。
2. CLI プロンプトで「15」と入力し、Enter を押します。次のオプションが表示されます。

```
-----  
1. Appliance version  
2. Check for updates  
3. Install update  
4. Return to main menu
```

```
Enter selection [1 - 4]:
```

3. 「3」と入力し、Enter を押します。
  - ・ アップデートが見つからない場合は、次のメッセージが表示されます。

```
No available updates found
```
  - ・ アップデートが見つかった場合は、アップデートのバージョン番号が表示され、アップデートがインストールされます。
4. Enter を押して、仮想アプライアンスのアップデート メニューに戻ります。
5. 「16」と入力し、Enter を押して DSITV からログアウトします。
6. ログイン プロンプトが表示されたら、DSITV に再度ログインします。
  1. アップデートをインストールした後、DSITV アプライアンスを再起動します。バージョン番号は、アップデートの直後には更新されることがあります。このアクションは、バージョン番号も更新します。
  2. DSITV アプライアンスを再起動した後、DSITV アプライアンスの CLI メニューから vSphere Web Client Plugin を登録解除し、再登録します。この操作により古いプラグインが削除され、新しいプラグインが vCenter に登録されます。
  3. Replay Manager サービスがインストールされているサーバーに Replay Manager エクスプローラーがインストールされている場合は、DSITV アップデートが完了した後、Replay Manger サービスを再起動します。

### 関連タスク

[DSITV の再起動](#)

## ダークサイトにおける DSITV のアップデート

DSITV がインターネットにアクセスできないサイトにインストールされている場合、DSITV のアップデートをデルテクニカルサポートから取得する必要があります。その後で内蔵ウェブサーバを使用してアップデートを使用できるようにするか、または仮想アプライアンスに直接コピーすることができます。

### ウェブサーバーへのアップデートのコピー

1. 最新の DSITVUpdate.zip ファイルを取得するには、デル テクニカル サポートにお問い合わせください。
2. DSITVUpdate.zip ファイルのコンテンツを、Web サーバーのルート ディレクトリーにある dsitvupdate という名前のフォルダーに抽出します。

たとえば、Web サーバーのルート ディレクトリーが C:\inetpub\wwwroot の場合は、zip ファイルのコンテンツを C:\inetpub\wwwroot\dsitvupdate に抽出します。
3. Web ブラウザーを使用して `http:// web_server_address/dsitvupdate/manifest/manifest-latest.xml` に移動し、アップデートへのアクセスを確認します。
4. DSITV にログインします。
5. 「99」と入力し、Enter を押してインタラクティブ シェルにアクセスします。
6. `/etc/hosts` ファイルを開きます。

7. hosts ファイルの末尾に次のエントリーを追加します。

```
citv.compellent.com[IP_address_of_web_server]
```

8. 変更を hosts ファイルに保存し、「**exit**」と入力して CLI に戻ります。
9. 「[DSITV のアップデート](#)」の説明に従って、アップデートをインストールします。

## 仮想アプライアンスへのアップデートのコピー

1. 最新の DSITVUpdate.zip ファイルを取得するには、デル テクニカル サポートにお問い合わせください。
2. インターネットにアクセスできるコンピューターを使用して、仮想アプライアンスのオペレーティングシステムである CentOS リリース 6.7 用の解凍ツールをダウンロードします。
3. セキュア コピー (SCP) を使用して DSITVUpdate.zip ファイルをコピーし、ローカル コンピューターから仮想アプライアンスに RPM ファイルを解凍します。
4. DSITV にログインします。
5. 「**99**」と入力し、Enter を押してインタラクティブ シェルにアクセスします。
6. 次を実行して、解凍ツールをインストールします。

```
rpm -ivh [unzip_package_name].rpm
```

7. ルート ディレクトリーに、DSITVUpdate.zip という名前のディレクトリーを作成します。

```
mkdir dsitvupdate
```

8. 更新ファイルを DSITVUpdate.zip ディレクトリーに解凍します。

```
unzip DSITVUpdate.zip -d dsitvupdate
```

9. /opt/vmware/var/lib/vami/update/provider/provider-deploy.xml ファイルを開きます。
10. 文字列 `http://citv.compellent.com/` を検索し、`file:///root/dsitvupdate` に変更します。
11. 変更を provider-deploy.xml ファイルに保存し、「**exit**」と入力して CLI に戻ります。
12. 「[DSITV のアップデート](#)」の説明に従って、アップデートをインストールします。

## DSITV の再起動

 **注意:** DSITV を再起動する前に、スケジュールされたバックアップまたは復元操作が進行中でないことを確認してください。

1. DSITV にログインします。
2. CLI プロンプトで、「**12**」と入力して Enter を押します。
3. 「**y**」と入力し、Enter を押します。次のメッセージが表示されます。

```
Broadcast message from root...
```

```
The system is going down for reboot NOW!
```

4. ログイン プロンプトが表示されたら、DSITV に再度ログインします。

# Replay Manager Service for VMware

## RMSV のデータ移行

以前のバージョンの DSITV からアップグレードするには、RMSV データを移行する必要があります。

RMSV の設定プロセス中に、DSITV 4.x で作成された RMSV データの DSITV 5.1 への移行を選択できます。DSITV は、次のいずれかの条件に合致しない限り、データの移行を求めるプロンプトを表示します。

- ・すでに DSITV 4.x から DSITV 5.1 にデータを移行している。
- ・以前のデータを移行せずに DSITV 5.1 を設定することを選択した。

RMSV を設定すると、データ移行オプションが表示されなくなり、以前のリリースからデータを移行できなくなります。

**① | メモ:** 各復元ポイントは、データ移行が完了するまでにかかる時間を増やします。

移行後は、次のデータが DSITV 5.1 にアクセスできるようになります。

- ・定義済みの Storage Center のリスト
- ・E メール サービスの設定とスナップショットの通知メール
- ・ライセンス ステータスとシリアル ナンバーの情報
- ・ジョブ スケジュール
- ・バックアップ セットおよび復元ポイントのステータス レポート
- ・関連する仮想マシンおよびデータストアのバックアップ データ

**① | メモ:** バージョン 4.1 より前の DSITV を実行している場合は、まず DSITV 4.1 にアップグレードする必要があります。その後、前述のように DSITV 4.1 から DSITV 5.1 にデータを移行できます。

## RMSV の設定

Replay Manager が VMware vCenter と通信できるようにするには、VMware vCenter Server に関する情報を使用して RMSV を設定する必要があります。

**△ 注意:** 複数の DSITV 仮想アプライアンス上で、RMSV の複数のインスタンスが単一の VMware vCenter Server と通信するように設定されている場合、VMware ESXi ホストでエラーが発生する可能性があります。RMSV の各インスタンスは、異なる VMware vCenter Server と通信するように設定する必要があります。

- ・DSITV を展開し、タイムゾーンとネットワークを設定します。
- ・VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスを識別します。
- ・管理者権限を持つ VMware vCenter ユーザーのユーザー名およびパスワードを識別します。
- ・RMSV データを DSITV 4.1 から移行するかどうかを決定します。詳細については、「[RMSV データの移行](#)」を参照してください。

1. DSITV にログインします。

2. CLI プロンプトで「3」([ **RMSV の設定** ]) と入力し、Enter を押します。

DSITV 4.1 からアップグレードする場合、DSITV は RMSV 設定プロセスを開始し、既存の DSITV 4.1 アプライアンスからデータを移行するかどうかを尋ねます。移行するデータが存在する既存の DSITV 4.1 アプライアンスがある場合は、手順 3 に進みます。データの移行を求めるプロンプトが表示されたら、手順 4 に進みます。

3. データ移行を開始するには、プロンプトが表示されたら「y」と入力し、次の手順に進みます。

**① | メモ:** すでに RMSV を設定している場合、または DSITV 4.1 アプライアンスから移行している場合は、移行オプションを使用できません。

- データを移行する元の DSITV アプライアンスの IP アドレスまたはホスト名を入力します。  
DSITV はホストを認証し、接続を続行するかどうかを尋ねます。
- 接続の続行の確認を求められたら、「yes」と入力します。  
DSITV は、ホストを既知のホストのリストに追加し、そのホストの Replay Manager を停止して、RMSV データ ファイルのコピーを開始します。

c) ファイルが移行されると、DSITVはそのホストのReplay Managerを無効にし、Replay Managerを再起動して、データ移行が完了したことを示します。手順4に進みます。

4. VMware vCenter Serverのホスト名またはIPアドレスを入力し、Enterを押します。
5. 管理者権限を持つVMware vCenter ユーザーのユーザー名を入力し、Enterを押します。
6. 管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力し、Enterを押します。
7. パスワードを再入力し、Enterを押してパスワードを確認します。
8. 「11」と入力し、Enterを押します。

RMSVはVMware vCenter Serverへの接続を試みます。「Connected successfully」メッセージが表示された場合は、ステップ8に進みます。「Connection to vCenter failed」メッセージが表示された場合は、サーバー情報を確認して、ステップ4~7を繰り返します。詳細については、「[RMSVのトラブルシューティング](#)」を参照してください。

**① メモ:** サーバー証明書メッセージが表示された場合は、「y」と入力してEnterを押し、証明書を信頼します。

9. DSITVのホスト名またはIPアドレス、および管理者権限を持つVMware vCenter ユーザーのユーザー名とパスワードを使用して、VMware vCenter ServerをReplay Manager エクスプローラーに追加します。

Replay Manager へのVMware vCenter Serverの追加についての詳細は、『*Replay Manager 管理者ガイド*』を参照してください。

**① メモ:** Replay Manager エクスプローラーなどのReplay Manager 管理ツールは、DSITV 仮想アプライアンスと接続しているコンピューターにインストールする必要があります。

# Dell Storage vSphere Web Client Plugin

## Dell Storage vSphere Web Client Plugin のインストール

vSphere Web Client Plugin をインストールするには、VMware vCenter でプラグインを登録します。

- ・ DSITV を展開し、タイムゾーンとネットワークを設定します。
- ・ VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスを識別します。
- ・ 管理者権限を持つ VMware vCenter ユーザーのユーザー名およびパスワードを識別します。
- ・ Dell Storage Manager Data Collector が、Storage Center と通信するようにしてください。

1. DSITV にログインします。
2. CLI プロンプトで、「4」と入力して Enter を押します。
3. VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスを入力し、Enter を押します。
4. 管理者権限を持つ VMware vCenter Server ユーザーのユーザー名を入力し、Enter を押します。
5. 管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力し、Enter を押します。
6. 必要に応じて、パスワードを再度入力し、Enter を押してパスワードを確認します。

 **メモ:** サーバー証明書メッセージが表示された場合は、「y」と入力して Enter を押し、証明書を信頼します。

7. DSITV のホスト名または IP アドレスを入力し、Enter を押します。
8. 「y」と入力して、Enter を押します。
9. vSphere Web Client Plugin がインストールされたら、Enter を押してメインメニューに戻ります。

vSphere Web Client Plugin の管理および使用の詳細については、「*Dell Storage vSphere Web Client Plugin Administrator's Guide*」(Dell Storage vSphere Web Client Plugin 管理者ガイド)を参照してください。

## vSphere Web Client Plugin の削除

vSphere Web Client Plugin を削除するには、VMware vCenter からプラグインを登録解除します。

- ・ VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスを識別します。
- ・ 管理者権限を持つ VMware vCenter ユーザーのユーザー名およびパスワードを識別します。

1. DSITV にログインします。
2. CLI プロンプトで、「5」と入力して Enter を押します。
3. VMware vCenter のホスト名または IP アドレスを入力し、Enter を押します。
4. 管理者権限を持つ VMware vCenter ユーザーのユーザー名を入力し、Enter を押します。
5. 管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力し、Enter を押します。
6. 「y」と入力して Enter を押し、vSphere Web Client Plugin を削除します。
7. vSphere Web Client Plugin が削除されたら、Enter を押してメインメニューに戻ります。
8. VMware vCenter Web Client で変更を表示するには、ログアウトしてから再度ログインします。

# DSITV アプリケーションのトラブルシューティング

DSITV アプリケーションでの問題を処理するには、次の手順を実行します。

- ・ Dell Replay Manager Service for VMware の問題をトラブルシューティングするには、RMSV トラブルシューティング手順を使用します。
- ・ Dell Storage vSphere Web Client Plugin の問題をトラブルシューティングするには、vSphere Web Client Plugin のトラブルシューティング手順を使用します。

**トピック：**

- ・ [RMSV のトラブルシューティング](#)
- ・ [vSphere Web Client Plugin のトラブルシューティング](#)

## RMSV のトラブルシューティング

Replay Manager が VMware vCenter Server に接続できない場合：

- ・ VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスが正しいこと、および VMware vCenter Server ユーザーが管理者権限を持っていることを検証します。「[RMSV の設定](#)」を参照してください。
- ・ RMSV が実行されていることを検証します。「[RMSV ログファイルの保存](#)」を参照してください。

これ以上のトラブルシューティングが必要な場合、デルテクニカルサポートでは、分析のために RMSV のログのコピーが必要になる場合があります。「[RMSV ログファイルの保存](#)」を参照してください。

## RMSV の再スタート

CLI でオプション **11** を使用して RMSV を再起動し、起動することを確認します。

1. DSITV にログインします。
2. CLI プロンプトで「**11**」と入力し、Enter を押します。次のメッセージが表示されます。

```
Waiting 15 seconds for the service to restart
Starting replaymanager: [ OK ]
```

RMSV が停止され、再起動されます。

- ・ [ OK ] が表示されると、RMSV の起動は成功です。
- ・ [ Failed ] が表示されると、RMSV の起動は失敗です。

## RMSV ログファイルの保存

CLI でオプション **14** を使用して、RMSV ログ ファイルを zip ファイルに保存します。

1. DSITV にログインします。
2. CLI プロンプトで「**14**」と入力し、Enter を押します。次のオプションが表示されます。

```
1. Gather support information
2. Return to main menu
Enter selection [1 - 2]:
```

3. 「**1**」と入力し、Enter を押します。ログを含む zip ファイルは、仮想アプライアンスのルート ディレクトリーに保存されます。
4. セキュア コピー (SCP) を使用して、zip ファイルを仮想アプライアンスからローカル コンピューターにコピーします。  
zip ファイルがローカル コンピューターにある場合は、デル テクニカル サポートに送信できます。

# vSphere Web Client Plugin のトラブルシューティング

## Dell ストレージ アイコンが表示されない

Dell ストレージ アイコンが vSphere Web Client の [ 管理 ] ペインに表示されない場合は、次の手順を実行します。

- ・ VMware vCenter Server のホスト名または IP アドレスが正しいこと、および VMware vCenter Server ユーザーが管理者権限を持っていることを確認します。「[RMSV の再スタート](#)」を参照してください。
- ・ vSphere Web Client Plugin が実行されていることを確認します。「[vSphere Web Client Plugin のインストール](#)」を参照してください。
- ・ vSphere Web Client サービスを再起動します。
  - ・ Windows ベースの vCenter Server の場合は、[ **Server Manager** ] > [ サービス ] > [ **VMware vSphere Web Client サービス** ] の順にアクセスし、vSphere Web Client サービスを再起動します。[ **再起動** ] を選択するとサービスが再起動します。
  - ・ Linux ベースの vCenter Server アプライアンスの場合は、次のコマンドのいずれかを使用してサービスを再起動します。
    - ・ `service vsphere-client restart`
    - ・ `/etc/init.d/vsphere-client restart`

さらにトラブルシューティングが必要な場合、デル テクニカル サポートは、分析用に vSphere Web Client のログファイルのコピーを必要とすることがあります。「[vSphere Web Client ログファイルの表示](#)」を参照してください。

## プラグインの概要およびモニターページが無効になっている

概要情報は、vSphere Web Client Plugin に表示されない可能性があります。サマリページ ( **Summary** ( サマリ ) タブ、**Dell Storage** ( Dell ストレージ ) タブの順に選択 ) およびモニターページ ( **Monitor** タブは、**Dell Storage** ( Dell ストレージ ) タブの順に選択 ) で、情報が空白で表示されます。

vCenter Server および Dell Storage Manager の設定の **Manage** ( 管理 ) タブに入力した資格情報が正しいことを確認します。

## 自動フェールオーバーを適用すると Live Volume を有効にできない

自動フェールオーバーおよびセカンダリボリュームの昇格を設定している Live Volume では、次の要件が満たされていない場合に失敗することがあります。

- ・ Type ( タイプ ) が Synchronous ( 同期 )
- ・ Synchronous ( 同期 ) モードは高可用性です
- ・ ソースおよびターゲットの Storage Center がバージョン 6.7 以降

これらの要件を満たしているデータストアまたは RDM を選択します。必要に応じて、これらの要件を満たすようにデータストアを変更するか、または新しいデータストアまたは RDM を作成します。

## vSphere Web Client ログファイルの表示

詳細に関しては、以下の出版物を参照してください。

- ・ vSphere Web Client のログファイルを表示するには、VMware Knowledge Base 文書「[Location of vSphere Web Client 5.x service logs \(2004090\)](#)」( vSphere Web Client 5.x サービスログの場所 ( 2004090 ) ) を参照してください。
- ・ ログレベルを変更するには、VMware Knowledge Base 文書「[Enabling debug logging on the VMware vSphere 5.x/6.0 Web Client service \(2011485\)](#)」( VMware vSphere 5.x/6.0 Web Client サービスでデバッグログを有効にする ( 2011485 ) ) を参照してください。

## TLS に関連する登録の失敗

vCenter Server が無効の TLS 1.0 で設定されている場合、vSphere Web Client Plugin プラグインの登録に失敗することがあります。